

長崎市版 DMO 研究会 第 3 分科会 第 3 回議事録 (要約)

1. 日時 平成 29 年 10 月 23 日(月) 14:30～16:00
2. 場所 アマランス会議室No.3
3. 参加者 アドバイザー：DMO 推進機構 大社代表理事
専門委員：長崎県観光連盟 加藤専務理事
事務局：長崎市 観光推進課 濱田課長
観光政策課 川村係長
交流拡大推進室 平尾氏
産業雇用政策課 高比良係長
商業振興課 田中係長
水産農林政策課 森川課長
都市経営室 篠崎主幹
長崎創生推進室 林氏
まちづくり推進室 中井室長
まちなか事業推進室 藤永係長
長崎国際観光コンベンション協会
外園本部長、川崎統括部長、寶珠統括部長、森下部長、
4. 資料 資料 1 一般社団法人長崎県観光連盟とは…
資料 2 長崎県観光振興計画（平成 28～32 年度）の施策体系
資料 3 進化する“まちの形”
資料 4 ～「交流の産業化」による長崎創生～
5. 主な議事内容
 - (1)目的
 - ・官官連携について
 - (2)意見概要等
 - ① 前回（地域連携、官民連携）のふりかえり
 - ②長崎県観光連盟の取組み及び長崎県観光振興計画の説明。
（組織編成、観光連盟のあり方、強み等、課題等（ノウハウの継承、人材の育成等））
 - ・着地型旅行商品は観光連盟で行う方針。（県内周遊型）
 - ・観光連盟としては長崎県の観光に関することを主に。
 - ③長崎創生推進室より
 - ・「交流の産業化」による長崎創生について説明
 - ④都市経営室より
 - ・「進化する“まちの形”」について説明

(3)主な意見

- ・長崎県と県観光連盟の役割分担は協議中である。県で任せてもらう分は、長崎市の分も含めて任せてもらう事はできるのでは。(例えば中国へのプロモーション事業)
- ・長崎県観光連盟は、修学旅行誘致について今後、地域に任せる事も考えもあるが、県として取組んでほしいとの要望もある。ただし、海外へは、広域でのプロモーションが必要などで県に任せていただければと思う。
- ・ビックデータ収集は長崎県、現場の情報収集(旅行会社等)は県観光連盟が実施する役割分担をしている。
- ・県、県観光連盟、長崎市、CV協会のお互いの業務の洗い出しをして突き合わせし共有する事が必要。
- ・県・市の計画立案の段階で、共有が必要。(方向性を共有)
- ・実行する体制づくり(県、市、DMOが無駄のないように)
- ・県だからやれる事を明確にすること。

以上